

事例 2

上三川高等学校

地域連携教員	島田 桂 教諭	地域連携教員歴	1年
--------	---------	---------	----

1 コーディネーターについて

上三川高等学校では、社会福祉部を中心に、以前から上三川町でのボランティア活動に積極的に参加・協力していた。そこでの生徒の活動の評判がよく、様々な活動への協力依頼が部に来るようになった。依頼が多くなるにつれ、部の活動だけでは対応が難しくなってきたこともあり、対象を全生徒に広げ、ボランティア活動への参加を奨励するようになった。町は、上三川高校の活動を全面的に支援してくれており、特に社会福祉協議会では「学校担当」の職員を設置し、現在、その方がコーディネーターとして活動してくれている。

2 コーディネーターとの連携の実際

○社会福祉協議会プログラム「サマースクール」への参加

社会福祉協議会では、青少年の福祉への関心を高めるため、中高生を対象に「サマースクール」を実施している。コーディネーターを通じて、上三川高校へも参加者の募集があり、今年度は 30 名以上の生徒が参加した。今年度の「サマースクール」は 4 日間の日程で、開講式・事前研修、体験学習(2 日)、閉講式が行われた。事前研修では、「生きる中で大切なこと」についてDVD鑑賞やグループワークを通して考え、体験学習への準備とした。体験学習では、グループごとに福祉施設、幼稚園、病院等を訪問し、子どもたち、障がい者、高齢者等とふれあいながら、命やコミュニケーションの大切さについて学んだ。「サマースクール」を通して、生徒は普段の生活ではなかなか体験できないことに挑戦できており、一度参加した生徒の中には次年度も続けて参加する者も多い。

○ふくしアクションプログラム

社会福祉協議会が実施している「ふくしアクションプログラム」と連携し、学校では福祉教育の充実を図っている。このプログラムは、社会福祉協議会と学校が連携し、生徒の福祉への理解を深め、積極的にボランティア活動へ参加するための基盤整備を図ることを目的として実施している。具体的には、全生徒を対象とした「福祉講演会」を実施した後、希望者を募り、「特別授業」として災害で被災した場所へボランティア活動に行くというものである。講演会の講師選定、特別授業のバスの手配や現地との連絡調整等は社会福祉協議会が行ってくれ、生徒は昼食代だけで特別授業に参加できる。毎年、特別授業への参加希望者が多く、参加者の選考を行うほどである。



ふくしアクションプログラム
「特別授業」の様子

○コーディネーターとの連携を深める工夫

活動を行う際は、コーディネーターとの事前打合せや電話での進捗状況確認等の細かい連絡をとるよう心がけている。また、コーディネーターを通して町が学校に協力してくれる恩返しとして、生徒に町の他のイベント(ふくしまつり、交通安全週間のボランティア等)への参加・協力を促している。こうした活動の機会を増やすことで、これまで活動に参加しなかった生徒の参加の機会も生まれている。

3 成果と課題

○成果

福祉講演会では、コーディネーターの幅広い人脈のおかげで様々な講師が講演に来てくれるようになり、講演会が充実している。教員は、講師の選定から講演会を企画しなくてよいので、とても助かっている。サマースクールや特別授業では、コーディネーターを中心とした社会福祉協議会の職員が企画・運営を行ってくれるため、教員は当日の生徒指導だけに集中することができる。長年の継続した活動でコーディネーターと学校の間信頼関係ができており、役割分担もスムーズである。また、異動等の理由で学校の担当が替わっても、コーディネーターが活動の流れをよく理解しているので、教員はコーディネーターに教えてもらいながら活動を進めることができている。

○課題

コーディネーターとの連携上の課題は特に感じていない。コーディネーターは学校に頻繁に足を運んでくれており、顔の見える関係づくりができている。

最近では、上三川町以外の市町から、ボランティア活動協力の依頼が来ることもある。多くの依頼があることはありがたいが、なかなか他の市町の活動まで引き受けられていないのが現状である。さらに活動を広げるためには、地域連携担当を複数名にする等の学校側の体制整備と、町の社会福祉協議会のような地域側の主体的なかかわりが必要であると思う。

4 その他

生徒がボランティア活動に参加する最初のきっかけは、担任に勧められた、進路実現に向けて自分のアピールポイントを作りたい等の理由も多い。しかし、実際に活動に参加すると、活動を通して人の役に立てる喜びを感じてか、次の活動にも継続して参加する生徒が多くいる。ボランティア活動を中心とした地域連携活動は、上三川高等学校の教育の特色の一つであると考えられる。